

義務教育学校開校に よる各避難所について

公正会・
市民の声連合

沢田 広志

問 義務教育学校開校まで一年となりました。

そこで、災害時緊急指定避難場所と指定避難所はどのようなのか伺います。

答 市では、現在12カ所の指定緊急避難場所・指定避難所を指定しており、市民の皆様の安全確保に努めています。

令和8年4月の義務教育学校開校時にも、市民の安全を第一に考え、避難体制に支障をきたさないように指定緊急避難場所・指定避難所における収容人数の確保を図っています。

今回の義務教育学校開校により、指定緊急避難場所・指定避難所として利用している5つの小学校が閉校となりますが、空知太小学校・中央小学校・豊沼小学校については、令和8年4月以降も校舎などの利用が見込まれることから、指定緊急避難場所・指定避難所として指定し続けます。残る2つの北光小学校・砂川小学校につ

いては、跡地利用について現状では決まっていないので、令和8年4月の閉校時には指定緊急避難場所・指定避難所として当面は指定を続ける予定です。

なお、それ以降に北光小学校・砂川小学校の跡地利用において避難所として利用できない場合は、指定を解除することになりますが、指定緊急避難場所・指定避難所における収容人数の確保を図るため、代替の指定緊急避難場所・指定避難所の指定を考えています。



ほかに「協働のまちづくり」について質問しました。

小中学校のスマートフォン 等の使用について

日本共産党

高田 浩子

問 スマートフォン所持の実態把握について伺います。

答 平成29年に、小4から中3までの生徒と保護者にアンケートを実施、その後平成30年に2回目の調査を行い、令和元年に小6と中3そして小4から中3の保護者の調査をしました。

問 小1から小3を対象にしない理由と今後の調査について伺います。

答 内閣府調査が10歳以上で所持率も少ないためです。

調査については、ルールの作成及び浸透のため、その後は行っていないです。

問 使用における注意点等の指導について伺います。

答 国の指導資料の活用やゲストを招いての学習の実施、またネットパトロールを実施しています。

問 ネットパトロール実施頻度について伺います。

答 月1から2回調査します。

全体への影響に関わる指導につ

いて伺います。

答 国のガイドブックや保健だより等通信を利用し指導しています。

問 ガイドブックの内容について伺います。

答 姿勢や環境等、専門家の意見を交え解説している資料です。

問 通信等をどのように活用するのかについて伺います。

答 目の愛護デーや長期休み中の留意点として触れたり、随時指導や啓発に活用しています。

問 実施把握に努め、いじめや事件、健康被害等から子どもを守り、環境構築に努めてください。



フードバンク等の 推進について

公正会・
市民の声連合
武田 真

問 フードバンクとは、企業等から提供された余剰食品を福祉施設や子ども食堂等に無償で提供する仕組みです。この取組みは、食品ロスの削減と社会福祉の向上を両立するものとして近年推進されています。本市等の状況、食品ロス削減の考え方、今後の関与のあり方について伺います。

答 市内では、余剰食品を集めるフードドライブを実施しているスーパーマーケットがあります。近隣自治体では、月形町のNPO法人が空知管内の自治体から委託を受け、食料支援の取組みを行っています。

食品ロス削減については、フードバンク活動が有益な手段の一つであると認識しています。本市の今後の関与のあり方については、物価高を背景とした生活困窮世帯の増加や子ども食堂の活動に取組む団体等の出現も考えられるため、情報収集に努めていきます。



認知症施策を推進する 条例の制定について

問 条例の制定を通じて、認知症の方々が尊厳を保ちながら安心して暮らせるまちづくりを推進することができると考えますが、市の見解を伺います。

答 市では、砂川市高齢者いきいき支え合い条例に基づき地域高齢者見守り事業等を推進しています。認知症施策を推進する条例の制定は現時点で想定していませんが、国の計画に則り認知症の方及びそのご家族等のご意見を伺いながら認知症施策を推進していきます。

市立病院について

公正会・
市民の声連合
小黒 弘

問 病院経営の再建計画を策定し、入院患者数の増、収益的支出の減など外部の意見を取り入れながら組織全体で取組むべきと思います。が、策定の考えを伺います。

答 病院事業管理者、院長とも協議の上コンサルタントの活用を決めたところです。

本年2月下旬には病院幹部、各部門の長を対象に、コンサルタントから病院の経営状況の簡易分析結果が報告され、現状の認識及び今後の課題の共有を図り、現在はコンサルタントによるデータ分析を行っています。

分析後のデータを基に危機感とスピード感を持って組織全体で経営再建・改善を進めていきたいと考えています。

問 病院の駐車場は、患者サービスの一環でもあります。が、とても混んでいます。現状と対策について伺います。

答 現在の駐車可能台数は、患者用348台・職員用470台の合計818台を確保しています。

確保しています。

一日の駐車場利用者が台数は、自家用車で通院されている方が一日500台程度で職員は日勤者が一日470台程度の合計970台程度であり、駐車可能台数より多くなります。

混雑時の対策としては、事務職員等の車を看護宿舎前や医師住宅跡地などへ移動しています。

冬期間は、雪山による狭隘化を防止するため、こまめな排雪作業を実施することにより、駐車スペース確保に努めています。



病院立体駐車場の屋上階

ほかに「義務教育学校の教員の在り方について」質問しました。